

## マイクロカセット™コーダー

### 取扱説明書 Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## M-100MC

Sony Corporation © 1998 Printed in China

### ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前のために録りをしてください。
- マイクロカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- カセットテープは「MICROCASSETTE™」の表示があるものをご使用ください。この表示のないテープは、このマイクロカセットコーダーでは使用できない場合があります。(A)

テープA面には小さなおまきが  
あり、暗いところでもA面B面の  
区別ができます。



- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは  
ホームページをご覧ください。<http://www.sony.co.jp/support>

**使い方相談窓口**  
フリーダイヤル……………0120-333-020  
携帯電話・PHS一部……………0466-31-2511

**修理相談窓口**  
フリーダイヤル……………0120-222-330  
携帯電話・PHS一部……………0466-31-2531  
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

**FAX (邦語) 0120-333-389**

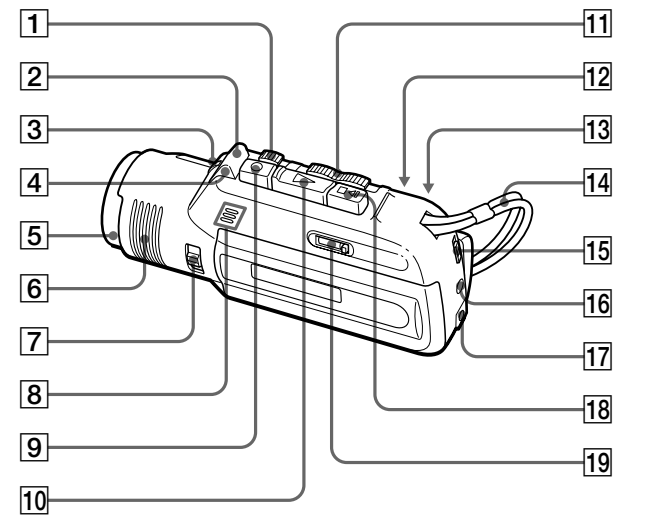
左記番号へ接続後、最初のオビタンクが高れる間に

「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおかけください。

### 主な特長

- 録音状況に応じてマイクの感度、および指向性を3段階(講義、会議、口述)に切り換えることができる**録音モード切り換えスイッチ**。
- 電池の消耗を2段階で知らせる**電池(残量)ランプ**と電池の交換時期を知らせる**電池交換ランプ**。
- 録音内容ごとに信号音を入れておくことにより、キュー/レビュー時に頭出しができる、**キューマーカー機能**。
- 再生の速度を普通より速く、効率良く聞き返すのに便利な**ファーストプレイバック(速聞き再生)機能**。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まる**VOR(自動音声録音スタート)機能**。
- 再生モードから直接録音モードにできる**後追い録音機能**。
- テープカウンター**
- 再生・録音時にテープの終わりで自動的に動作が止まる、**オートシャットオフ機能**。
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、**ストップポーズリリース機能**。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗を減らします。

### 各部のなまえ B



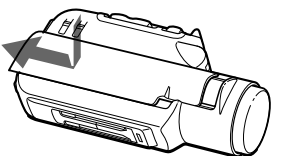
- |    |    |
|----|----|
| 1  | 11 |
| 2  | 12 |
| 3  | 13 |
| 4  | 14 |
| 5  | 15 |
| 6  | 16 |
| 7  | 17 |
| 8  | 18 |
| 9  | 19 |
| 10 |    |
- 11 一時停止スイッチ  
12 キューマーカーボタン  
13 音量つまみ  
14 録音ランプ  
15 マイク  
16 スピーカー  
17 録音モード切り換えスイッチ  
18 電池(残量)ランプと電池交換ランプ  
19 ●(録音)ボタン  
▶(再生)ボタン
- 11 ▶▶(早送り)/キュー  
◀◀(巻き戻し)/レビューつまみ  
12 VORスイッチ  
13 ファーストプレイバックスイッチ  
14 ハンドストラップ  
15 テープスピード切り換えスイッチ  
16 イヤホンジャック  
17 DC IN 3Vジャック  
18 ■◄(停止/取り出し)ボタン  
19 テープカウンター

## 乾電池を入れる

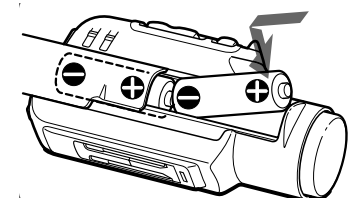
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

### 1 付属の乾電池を入れる C-①

①押しながら矢印の方向へずらす



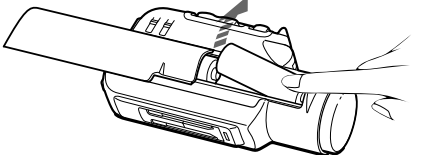
②単3形乾電池2本を入れる



#### ご注意

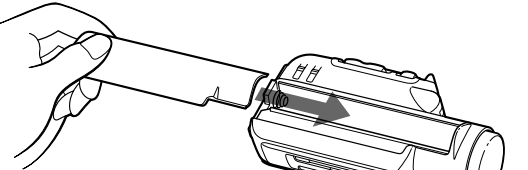
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは C-②



電池入れのふたがはずれたときは C-③

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになってしまいます。はずれた場合は図のようにふたを溝に通して取り付けてください。

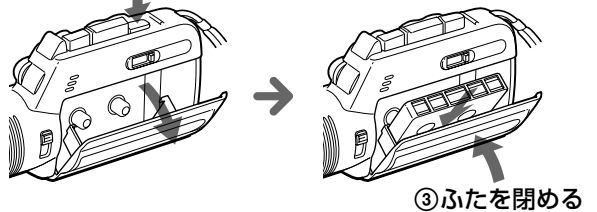


## 録音する

内蔵マイクですぐに録音できます。

### 1 カセットを入れる D-①

- ①■◄(停止/取り出し)を押してふたを開ける  
②録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる



③ふたを閉める

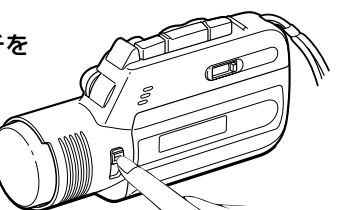
### 2 テープスピードを選ぶ D-②

テープスピード切り換えスイッチを「2.4cm」または「1.2cm」に合わせる



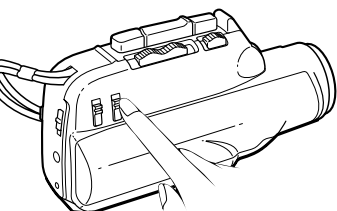
### 3 録音モードを合わせる D-③

録音モード切り換えスイッチを録音状況に合わせて「講義」、「会議」または「口述」に切り換える



### 4 VORスイッチを「切」にする D-④

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR機能を使った録音については「録音の便利な機能を使う」をご覧ください。



### 5 録音する D-⑤

●(録音)ボタンを押す



▶ボタンが同時に押され、録音が始まります。  
録音ランプが点灯(音の強弱にあわせて明るさかわります。)

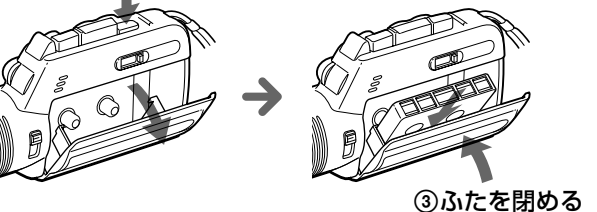
操作	押すボタン、ずらすつまみ
録音を止める	■◄(停止/取り出し)
一時停止する	11 一時停止スイッチを矢印の方向にずらす。録音ランプと電池(残量)ランプが消灯する。 一時停止を解除するには、11一時停止スイッチを元に戻す。
カセットを取り出す	■◄(停止/取り出し)

## テープを聞く

内蔵スピーカーから音が聞こえます。

### 1 カセットを入れる E-①

- ①■◄(停止/取り出し)を押してふたを開ける  
②再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる



③ふたを閉める

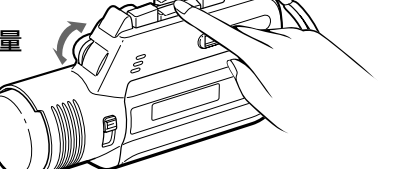
### 2 テープスピードを選ぶ E-②

テープスピード切り換えスイッチを録音したときの速度に合わせます。



### 3 再生する E-③

①▶(再生)ボタンを押す



②音量つまみで音量を調節する

操作	押すボタン、ずらすつまみ
テープを止める	■◄(停止/取り出し)
一時停止する	11 一時停止スイッチを矢印の方向にずらす。電池(残量)ランプが消灯する。 一時停止を解除するには、11一時停止スイッチを元に戻す。
早送りする*	再生中に▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを▶▶(早送り)/キューの方向にずらす。*
巻き戻す*	再生中に▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを◀◀(巻き戻し)/レビューの方向にずらす。*
音を聞きながら早送りする(キュー)	再生中に▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを▶▶(早送り)/キューの方向にずらす(指を離すとそこから再生する)。**
音を聞きながら巻き戻す(レビュー)	再生中に▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを◀◀(巻き戻し)/レビューの方向にずらす(指を離すとそこから再生する)。**

- \* 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急激に消耗するので必ず■◄(停止/取り出し)ボタンを押してください。
- \*\* テープは巻き戻し/レビュー時のほうが早送り/キュー時より早く巻き取られます。

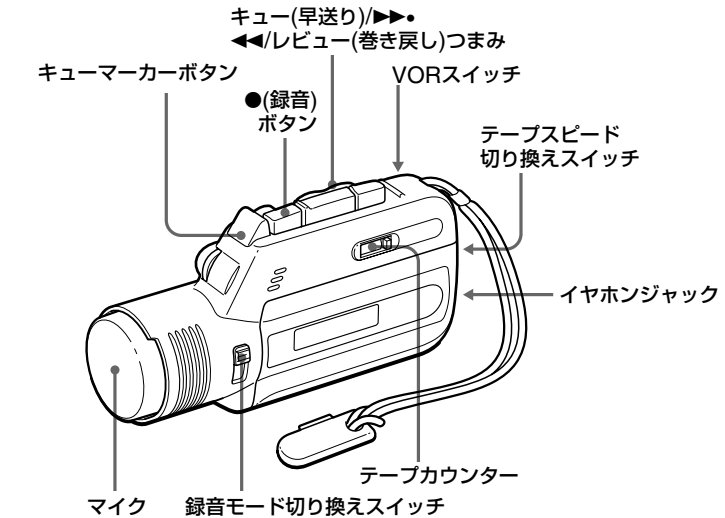
#### ご注意

再生中に巻き戻し(レビュー)をしてテープの始めまで巻き取られた時、指を離しても▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみが中央に戻らないことがあります。このような場合は、つまみを中央に戻すと再生が始まります。

テープを速聞きするには(ファーストプレイバック)

ファーストプレイバックスイッチを矢印の方向にずらします。元の速度に戻すには矢印の反対方向にずらします。効率良く聞き返したいときに便利です。

### 録音の便利な機能を使う F



テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。

#### テープ速度

- テープスピード切り換えスイッチでテープ速度を選びます。  
2.4cm : 通常の録音をするとき  
「1.2 cm」のときより良い音で録音できます。  
1.2cm : テープを2倍の長さで使って録音するとき  
(MC-60を使うと往復120分の録音ができます。)

#### ご注意

- 再生は録音と同じテープスピードで行ってください。他のマイクロカセットレコーダーで再生する可能性がある場合は、なるべく2.4cm/sの速さで録音してください。1.2cm/sの速さで録音したテープを、他のマイクロカセットレコーダーで再生すると、再生音が異なる場合があります。

音がしたとき自動的に録音を始める (VOR機能)

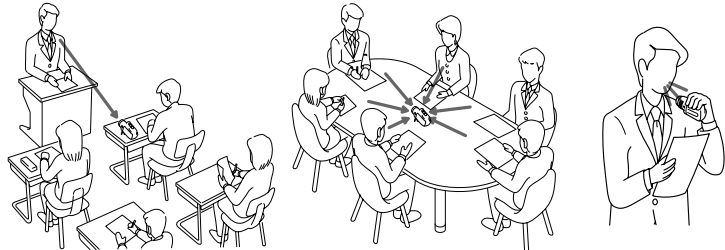
VORスイッチを「入」に切り換えておきます。  
●(録音)ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくならなくなります。録音の途中でテープを止める手間はがぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。

#### ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。VORスイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初め部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「切」にしてください。

録音モードを変えて録音するには G

研究会などで、特定の人の声を集中的に録音したいとき、会議などの発言を録音したいとき、または、口述録音したいときなど、それぞれに合ったマイク感度と指向性に切り換えることができます。録音モード切り換えスイッチを「講義」、「会議」、「口述」のどれかに合わせます。



- 講義 (マイク感度：高、単一指向性)**
- 会議 (マイク感度：高、全指向性)**
- 口述 (マイク感度：低、全指向性)**

録音中の音を聞くには  
付属のイヤールシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。(奥までしっかりと差し込んでください。)  
聞こえる音量は一定で音量つまみで調節することはできません。

後追い録音をする

再生中に●(録音)ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音したものの一部を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く (ワンタッチレビュー)

録音中に▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを◀◀(巻き戻し)/レビューの方向にずらすとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

キューマーカーを録音するには

録音中にキューマーカーボタンを押すことにより、目印としての信号を録音することができます。  
キューマーカーボタンを押すと、録音ランプが消灯して、信号がテープに録音されます。さらに長い信号を録音したい場合は、ボタンを押し続けてください。  
再生状態で早送りをしたり(キュー)、巻き戻したり(レビュー)すると、信号が録音されているところで音(ピー)がして知らせません。また、再生中も低い音(ブー)が聞こえます。

#### ご注意

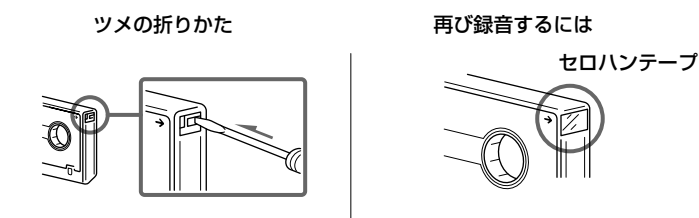
- キューマーカーは音声のとぎれたところでお使いください。
- キューマーカーの信号音はキュー時とレビュー時では音質が異なります。また、テープの最初と最後では巻き取られる速度が異なるため、テープの箇所によっても音質が変わります。

テープが終わりまできると(オートシャットオフ機構)

録音または再生状態でテープが終わりまで巻き取られると、押し込まれていたボタンは自動的に元に戻ります。  
早送り、巻き戻しをしたときは▶▶(早送り)/キュー◀◀(巻き戻し)/レビューつまみを中央に戻してください。

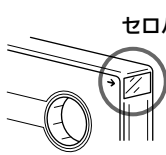
大切な録音を守るには H

カセットのツメを折ると録音状態にできなくなるので、録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。図に示された部分以外にはテープを貼らないでください。



ツメの折りがた

再び録音するには



ゼロハンテープ

### 他のテープレコーダーへ録音する I

本機を再生状態にして、接続したモノラルテープレコーダーを録音状態にします。

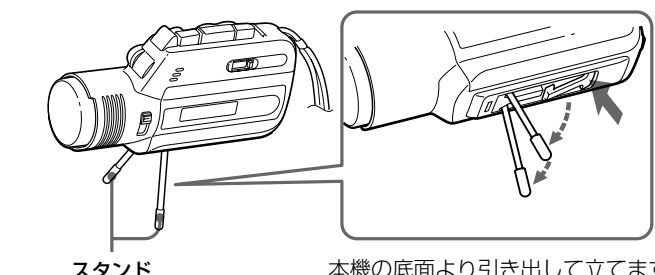


#### ご注意

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 上の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

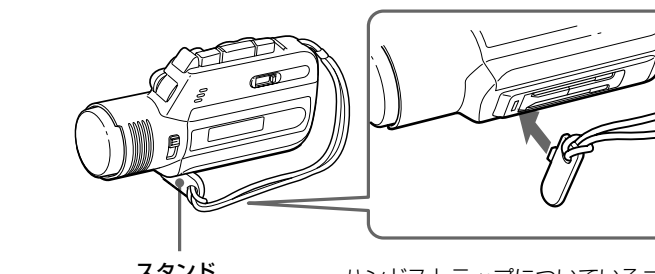
### スタンドを使って J-①

スタンドを使ってマイクの向きを変えることによって、余分な音を拾わず、よりクリアな録音ができます。特に、録音モードが「講義」のときは、スタンドを使うとマイクを音源の方向に向けて録音することができ、便利です。スタンドの立てかたは次の2通りあります。録音状況の合った方をお使いください。



スタンド

本機の底面より引き出して立てます。



スタンド

ハンドストラップについているゴム製のスタンドを、本機の底面の差し込み口に差し込みます。

スタンドがはずれたときは J-②

スタンドは過大な力を加えると、はずれるようになってきます。はずれた場合には、図のようにして取り付けてください。

